

第264回競技委員会議事録

1. 日 時：2020年2月5日（水）18時00分～21時45分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数13、定足数9、出席12（内委任状2）で成立。

寺本直志委員長、ロバート・ゲラー競技会事業担当業務執行理事、

浅越ことみ、斉藤千鶴乃、山後秀幸、桜井雅子、

正村祐一、久富健史、吉田正、仲村篤志

委任状：佐々部君敏、林伸之

欠席：西田奈津子

オブザーバー：山田和彦（第2号議案まで）、貴戸祥郎

4. 議事の経過及び結果：寺本直志委員長を議長に議事を逐一審議した。

第1号議案 クラブディレクター承認の報告

美見奈知子 242301 C-01198 シンガポール

第2号議案 IMPリーグに関して

センター協議委員会で討議されたIMPリーグ見直し案について検討し、以下の内容を決定した。

- ・8チーム～10チームのスイス方式を認める。対戦は直前のラウンドの結果を使用し、再戦は最終ラウンドも含めて行わない。ただし奇数チームの場合は再戦を1.5回まで認める。
- ・7チームのスイス方式については、対戦方法や再戦回数も含め、事務局で検討する。
- ・オープン以外においても、ハンディキャップ付きリーグを認める。ただし、募集時に明記している場合に限る。またハンディキャップの付け方は既存の方法に従う。
- ・マスターポイントによる制限をつけるリーグを、1000、300、100に限り認める。SP制限の場合の実態に合わせてマスターポイント計算式のL3係数は別途定める。
- ・午前午後など1日2試合を行う形式のリーグは原則認めない。ただし、日程の調整等の都合による場合や、主催者がクラブである場合は例外とする。
- ・1試合のボード数は通常24ボードだが、ジュニアに加えてジュニアおよび100においても20ボードを選択できるようにする。
- ・非会員の参加は、ジュニアに加えて100も認めることとする。

上記変更に対応するため、IMP試合要項、競技会運営規則、マスターポイント規則の変更について、事務局が草案を作成することとした

第3号議案 コンベンション・アラートに関するワーキンググループの報告

- ・HANDBOOKのコンベンションリスト、アラートチャート、コンベンション規定および用語集の文章修正案が提出され、一部を修正の上承認した。
- ・ウィーク2に対するインビテーションの強さを保証しない2NTをリストC以下で禁止する提案がなされたが、違反となる具体的な基準がないと運用上問題が生じることから、ワーキンググループにて基準の詳細を検討することとした。

第4号議案 ゲラー委員提出の議案

- ・ブリッジメイトおよびビディングボックスの扱い方について問題となるケースが報告され、トラブルが起きた場合にはHANDBOOK記載の手順に従うことをディレクターが指示でき

- ることを確認した。
- ・アラート要不要の事例およびハンド評価の事例について意見を交換した。
- ・「プレイヤーのためのルールガイド」のFAQの内容について意見を交換した。

第5号議案 陳大偉氏からの意見書

ブルーリボン杯を、多く発行されるマスターポイントに合わせて予選・決勝を行う2日間の試合に変更する意見書が提案された。

検討の結果、3会場開催であることから予選・決勝形式での開催は困難であるため、試合形式は現状通りとすることとした。またマスターポイントの発行量についても、2018年のマスターポイント規則改正で変更してから時間があまり経っていないことから、現状維持とした上で将来的に検討していくこととした。

第6号議案 その他議案

- ・HANDBOOKのパペットステイマンの定義について見直しを検討していくこととした。

次回競技委員会は2020年3月4日（水）18時00分からの開催を予定する。

以 上